

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会
	課名	スポーツ文化課
	係名	文化係
	記入者	山田 徹
	電話(内線)	611

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	<b>継続</b>	(2) 事務事業 の名称	計画 予算	結城廃寺跡整備事業 結城廃寺跡整備事業費	(3) 事業の 優先度	<b>A</b>
(4) 総合計画での位置づけ			(6) 事業主体		市	
① 事業の区分	<b>主要事業</b>			(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	普通建設事業費(ハード事業)
② 施策コード	44201	(総合計画掲載ページ 111 ページ)		会計区分	一般会計	
基本目標(政策)	4 未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)			財源区分	国庫補助	
基本施策	4 個性豊かな芸術文化の創造(芸術・文化)			予算科目	款 10	項 5
施策	郷土の文化財の保存と活用			予算書上の 事業名称	結城廃寺跡整備事業費 (予算書 171 ページに掲載)	
施策内容	結城廃寺跡の整備					
(5) 事業期間	開始 平成 15 年 4 月から 終了 平成 33 年 3 月まで ( 19 カ年)			(8) 事務分類	自治事務	
				根拠法令		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象者(だれを・何を)	国指定史跡結城廃寺跡附結城八幡瓦窯跡	(3) 事業内容(具体的に何を行うのか、そのために何を行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡内の土地の公有化(買上げ)を行い、史跡を保存する。</li> <li>指定区域の公有化は、平成29年度完了予定。</li> <li>史跡の公有化後、史跡公園として保存する。</li> </ul>
(2) めざす姿(どのような状態にしたいのか・意図)	史跡内の土地を買い上げ、公有化することによって、史跡内を将来に安定的に保存していくとともに、史跡公園として整備し、本市の歴史教育や生涯学習、観光拠点、さらには市民の憩いの場として活用していく。	<p>■ 事業の全体計画(※計画等がある場合、H24年度末時点で記入)</p> <p>・ 総事業費 1,230,000 千円 ・ 進捗率 32.1 %</p>	
(4) 事業開始のきっかけや市民・議会の要望や意見、他市の状況など(※1-(8)事務分類 法定受託の場合は、記入必要なし)			結城廃寺跡の国指定を契機として、史跡の保存と活用を図るために事業を開始した。

3. 事業コスト及び改善措置

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映	
実施計画							
● 予算内訳	実績・決算額(千円)	予算額(千円)	計画額・見込額(千円)				
	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度		
事業費	事業内容						
	41,681	69,183	200,000	100,000	100,000		
	76	208	208	208	208		
	304	360	1,500	1,500	1,500		
			2,500	2,500			
	42,061	69,751	204,208	104,208	101,708		
財源	国庫支出金(千円)						
	33,344	55,346	160,000	80,000	80,000		
	8,717	14,405	44,208	24,208	21,708		
	42,061	69,751	204,208	104,208	101,708		
補助・起債制度名	史跡等購入費国庫補助金	史跡等購入費国庫補助金	史跡等購入費国庫補助金	史跡等購入費国庫補助金	史跡等購入費国庫補助金		

(2) 平成25年度以降の改善・改革点(※ 記入の必要なし)

公有化した土地の有効活用を図るとともに、史跡整備に向けて、結城廃寺跡史跡整備基本構想を策定していく。

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
<b>(1) 活動指標（実施した事業の内容）</b>							
実施内容	史跡内の土地の公有化面積	目標値		3,511	8,785	348	499
		実績(見込)値	799	3,511			
	史跡内の土地の公有化延面積	目標値		3,486	41,580	43,577	44,076
		実績(見込)値	31,345	3,486			
<b>(2) 成果指標（事業実施による施策指標の達成度）</b>							
施策の指標	史跡内の土地の公有化率	目標値		72	86	90	92
		実績(見込)値	65	72	86	90	92
		達成率	70.7 %	78.3 %			
		目標値					
		実績(見込)値					
		達成率	%	%			

5. 事業評価

(1) 平成24年度の行政評価結果をうけて、平成24年度に取り組んだ改革改善点について記載してください。  
 結城廃寺跡の寺域範囲内において、地権者から国指定の同意が得られず国指定史跡に含まれていない箇所について、未同意者との交渉・協議を進めることが出来なかったため、今後進めていきたい。

(2) 項目別評価

評価項目	評価の指標	客観的評価点及び評価理由
1. 目的妥当性	①事業の必要性,緊急度は高いですか？	3 どちらとも言えない
	②行政が実施すべき事業ですか？	5 行政以外には実施できない事業である
	③受益者が特定の個人や団体に偏っていませんか？	5 広い範囲に対して便益が提供されており、偏りは見られない
13 A	補足 史跡を将来に安定的に保存していくためには、公有化が最も適した方法である。	
2. 効率性	④事業の手段（やり方）は適切ですか？	4 現在のやり方が一般的であり、特に問題はない
	⑤コスト効率, 人員効率は高まっていますか？	3 どちらとも言えない
7 B	補足	
3. 有効性	⑥活動指標, 成果指標は達成されていますか？(指標達成度)	2 やや目標を下回っており、改善が必要である。
	⑦事業の成果の進捗は順調ですか？(進捗度)	3 ある程度進んでいる
	⑧事業のめざす姿は基本施策の目標達成に貢献できますか？(貢献度)	5 基本施策への効果が高く、基本施策全体をより効率化できる
10 B	補足 住宅の物件移転補償があったが、居住者に24年度移転の同意を得られなかった。	
4. 総合評価	事業全体について評価し,問題点,課題等を指摘してください。 現在, 公有化した土地は除草作業等の維持管理を行っている。今後, 公有化完了の早期実現及び公有化した土地の有効活用を図る必要があるが, 宅地の代替地確保が困難な状況となっている。	
	30 / 40	
	[5×8項目]	
5. 対応策・提言等	この事業をどのように改善・改革をしていきますか？	
	平成25年度 [事業実施段階における改善点]	代替地のスムーズな確保のため, 市での代替地の先行取得等を検討していく。
	平成26~28年度 [今後の事業見込による改善点や改革点]	公有化した土地の有効活用を図るとともに, 史跡整備に向けて, 結城廃寺跡史跡整備基本構想を策定していく。

6. 事業の方向性判断

評価主体	25年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため, この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	平成14年9月20日国指定文化財になり, 史跡保存のため平成20年から国庫補助金(補助率80%)を導入して用地買収を進める, 建物移転が伴うため事業計画期間を平成29年度まで延長し10年計画とした。今後, 国指定範囲の拡大, 結城廃寺跡史跡整備基本構想作成, 整備事業等が見込まれる。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり